

第三部：模擬事例検討

Aさん（25歳男性）

【Aさんについて】

自閉症・軽度精神遅滞（療育手帳B）と診断されている。小中学校は特別支援学級に在籍し、特別支援学校高等部を卒業後は、現在の就労B型に通所。一人っ子で、両親は早くからAさんの自立を考え、昨年からグループホームに入居し、週末は実家に帰省している。

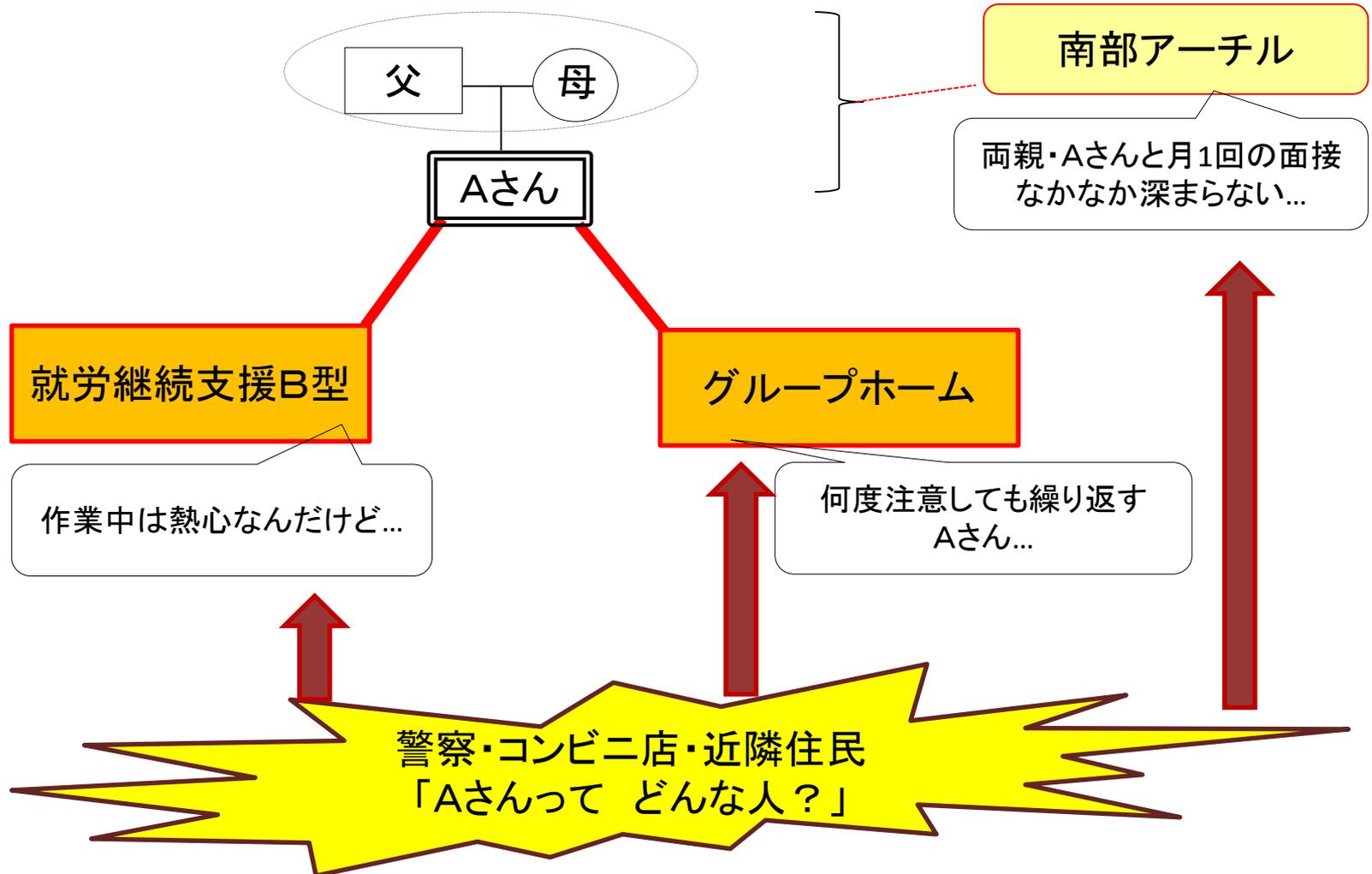
【Aさんの行動】

就労継続支援B型事業所からグループホームに帰る途中、「女性の髪に触る」「逃げる女性を追いかける」「コンビニ店の商品を悪戯し、見つかると商品を持って逃げる」ため、不審者や窃盗だと警察に通報されることが増えている。

Aさんの支援状況

- ◆警察やコンビニ店からグループホームに連絡が入る度、説明・謝罪をしているが、地域でも目立っている。
- ◆グループホームではその都度、Aさんに注意しても「次は気をつける」と口で言うだけで、また繰り返す。Aさんも反抗的になって人や物に当たり散らすようになり、グループホームでは早く退去してほしいと考えている。
- ◆通所先の作業は熱心に取り組み「工賃で～を買う」と目標を持ち、割と落ち着いて過ごすことができているが、最近では職員の顔を見て、突然「もうしません！」と口にするようになった。
- ◆アーチルは月1回、Aさんと両親を呼んで面接を実施。両親は何かあれば「Aは障害者手帳を持っているから仕方ない」「家では問題なく良い子です」と言い、Aさんも「反省しています」と言うだけで、面接しても積み重なっていかない…。

Aさんを取り巻く環境



支援上，悩んでいること

- ◆何度注意しても，問題を繰り返すAさんにどう関わったら良いか。
- ◆警察やコンビニ店，地域住民から「Aさんの支援状況を知りたい」と連絡が入るが，Aさんや両親の了解無しには情報提供できない。情報提供して事態が好転すれば良いが...
- ◆グループホーム退去後の住まいの場探しが難航しそう。
- ◆Aさんの問題を両親と共有できない。

手詰まり状態だが，何かしないといけない...